

2015-2016 ガバナー月信

# GOVERNOR'S Monthly Letter 10



国際ロータリー第2510地区 2015-2016年度ガバナー 嵯峨義輝

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512  
e-mail: rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>

2015-2016年度 国際ロータリーのテーマ  
**「世界へのプレゼントになろう」**  
Be a gift to the world



**国際ロータリー第2510地区 2015-2016年度 地区目標**

**1. 会員増強と維持率向上の推進**

会員数5%純増

**2. オンラインツールの利活用の推進**

「ロータリークラブ・セントラル」「My Rotary」への登録、利活用推進  
ウェブサイトやSNSを活用した公共イメージの向上

**3. 人道的奉仕活動の継続と推進**

ポリオ撲滅、復興支援、国際奉仕活動の継続と推進

**4. ロータリー財団への理解と協力支援の継続**

ロータリー財団に関する情報発信  
直接的・間接的寄付の継続

**第2510地区  
重点課題**

**1. クラブ戦略計画への支援**

**2. 新会員のフォロー支援**

**3. クラブサポートの強化**

**Contents**

●ガバナーメッセージ	1
●米山月間に因んで	2
●米山学友会について	4
●ガバナー公式訪問報告	5
●ロータリー、来し方行く末	11
●2016年韓国・ソウル大会のご案内(第一報)	12
●新会員の紹介/米山奨学生のご紹介	14
●2018-2019年度 ガバナーノミネー候補者推薦のお願い	15
●米山寄付・ロータリー財団寄付	15
●クラブ例会場のホテル名変更について/地区組織について	15
●ポリオプラス委員会より/文庫通信	16
●地区カレンダー	17
●出席率・会員数	18



## お願いをいくつか

国際ロータリー第2510地区

2015-2016年度ガバナー **嵯峨 義輝** (岩見沢RC)

10月24日は世界ポリオデーです。公式訪問の場でも皆様にお伝えしている通り、RIの重点目標の一つ目はポリオ撲滅であります。ロータリーの30年間にわたる地道な活動もあり、今ポリオ撲滅に向け大きく前進しているところです。今年に入ってから新たな発症はパキスタンとアフガニスタンの2カ国のみとなっています。この月信にも地区ポリオプラス委員会が毎月ポリオに関する情報を提供させて頂いています。是非お読みいただき引き続き皆様のご支援をお願い致します。また10月24日にはユニセフとの共催でニューヨークにおいて特別ライブ中継イベントが実施されるとのことです。すべての子どもをポリオの脅威から守るためにこの機会を活用してポリオ撲滅活動に対する理解者を増やしていきましょう。

さて10月は「経済と地域社会の発展月間」です。何か、まちづくり経済団体のスローガンのようですが、これは今年度からRIが指定した特別月間で、ご存じの通りロータリーの重点分野の一つです。世界では14億人が一日1ドル25セント未満での生活を強いられています。ロータリーは支援が行き届いていない地域社会において器具・機材や物資の提供や職業訓練の機会を通して雇用機会の創出に努め、経済や地域社会の発展と貧困の緩和に取り組んでいます。当地区でもVTT委員会において職業訓練支援事業を行っており、その事業への理解と協力をお願いしております。またこれらの多くはロータリー財団のグローバル補助金を活用しており、財団に対する皆様のご協力が事業を支えています。またロータリアンの行動規範の第3項に「自分の職業スキルを生かして若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中

の人びとの生活の質を高める」とあります。今月は特にこの点を念頭に置き行動したいものです。

また日本において今月は米山月間です。詳しくは渡邊、本多両委員長からの記事が掲載されているのでお読みいただきたいと思います。米山記念奨学事業の使命は、将来日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。私も2年前カウンセラーを経験いたしました。韓国からの留学生でしたが奨学生の国の今まで知らなかった面を色々教わりましたし、彼女には日本の事やロータリーについて理解を深めて貰えたと思っています。是非皆様のクラブも世話クラブとなって奨学生と交流してはいかがでしょうか。ただ地区の年間の奨学生の数は寄付の額で配分されます。一人でも多くのロータリーの理解者を増やすためにも米山記念奨学事業へのご協力をお願いします。

最後に当地区では安孫子パストガバナーに地区RI国際大会推進委員長を務めて頂いていますが、2016年5月28日から6月1日まで「韓国で世界とつながろう」という大会テーマの下、ソウルで国際大会が開催されます。今まで国際大会に参加したことのない方にも隣国での開催という事で参加しやすいチャンスかと思えます。日本全体の参加者目標は1万人となっていますが2510地区としてもできる限り多くの皆様と参加したいと考えています。宜しくお願いします。

ここまで読み返してみると今月はお願いばかりの文章になってしまいました。各クラブ地域に密着した活動を展開されていることに敬意を表するとともに今回記載の事業へのご協力を重ねてお願いします。皆様のご活躍を祈念いたします。



## 米山月間に因んで

地区米山記念奨学委員会

委員長 **渡 邊 葉 子** (札幌手稲RC)

米山月間にちなんで、ロータリー米山記念奨学会の、歴史を紐解いてみました。1952年東京RCが奨学事業の構想を立案し、1954年第1号の奨学生が誕生いたしました。この事業が全国組織となった1957年からちょうど10年後1967年に[財団法人ロータリー米山記念奨学会]が誕生いたしました。1959年世話クラブ制度設置。1971年カウンセラー制度が設けられました。2004年11月RI理事会において「多地区合同奉仕活動」の手続きを進めることを前提としてロータリー徽章の使用を認める、との決議がなされました。決議文は、「奨学金の授与を通し世界理解と平和に貢献されている財団法人ロータリー米山記念奨学会を賞賛する」と締めくくられました。2007年34地区全ての同意書がそろい日本全地区によるロータリーの多地区合同奉仕活動として、手続きが完了いたしました。創設期から半世紀を超え多くのロータリアンが“国際親善に尽くしたい”という夢のたすきを受け継ぎ発展していった結果、2012年公益財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。日本ロータリーの誇るべき奉仕活動であることを実感いたします。

この事業は、“どのような学生を選んだか”と“世話クラブ・カウンセラーの皆様、奨学生を親日家に育てていただき世界に羽ばたかせる”この2点が重要なポイントであると感じております。奨学生終了後も長く交流を続けていただきたいと望んでおります。

今年度は嵯峨ガバナーはじめ地区幹事の皆様のご理解のもと研修旅行を1泊研修とさせていただきます。学友の皆様もお誘いし4名の参加を頂きました。宿泊研修旅行の感想を米山奨学生の呂振さんに、綴っていただきましたので掲載させていただきます。



## 研 修 旅 行

北斗RC 呂 振

今年度米山記念奨学生宿泊研修は9月5日～6日に洞爺湖で行いました。一泊二日の研修は、美味しい料理をいただいて、有珠山に登って、熊牧場を参観して、皆様と深く交流し幅広い話をす

る機会を通して、自分の視野も広げることができました。本当に満足しました。ロータリー米山記念奨学会から奨学金を下さるだけではなく、こんな素晴らしい研修に参加し、楽しい時間を過ごし、心より感謝いたします。研修旅行はちょうど奨学生になり半年の時点で行って、深い意味があると思います。ロータリーの奨学生生活は後半年で終了ですが、奨学生として、ロータリーの精神を勿論忘れることができません。奨学生の生活は短いけれど、ロータリーとの縁を続けていきたいと思います。感謝を言うことだけでなく、将来ロータリアンになるために頑張りたいと考えております。ロータリーの精神を世界により多くの人々に伝える奉仕活動を順調に進めるために、精一杯頑張ります。



また、今年度の地区大会では、奨学生・学友がお茶・コーヒーサービスを行います。心より地区大会の成功を祈っております。





## 米山学友会について

地区米山学友委員会

委員長 **本 多 宏 行** (余市RC)

ロータリー米山記念奨学事業は、日本ロータリーの父米山梅吉翁の功績を讃える事業として、1952年に東京RCが「米山基金」の構想を発表しました。東京RCが始めた「米山基金」は、1957年に国内全クラブの合同事業として「ロータリー米山記念奨学委員会」が結成され全国規模の事業となり、1967年には財団法人の資格を得、財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。

第2510地区における米山記念奨学事業は、1961年に札幌RCが台湾出身の劉逸民君を受け入れたのが始まりでした。1968年には、米山カウンセラー制度の導入に伴い、札幌RCで受け入れたマレーシア出身のCHIYU, TIK君に東正和氏、久郷昌夫氏、斉藤雄一氏の3名がカウンセラーになり奨学生をケアするアドバイザーになりました。1970年に札幌RCで受け入れた台湾出身の林廣志君は、奨学期間終了後も北海道に在住し現在も医師として活躍されています。第2510地区が初めて奨学生を受け入れしてから54年という月日が経ち、この間394名の米山奨学生が339名のカウンセラー、37の世話クラブの許を巣立っていきました。

こうして巣立った米山奨学生は米山学友と呼ばれ、米山学友会は元米山奨学生によって組織される会です。現在、日本国内に31、海外に6(台湾・韓国・中国・タイ・ネパール・モンゴル)、合計37の学友会があります。学友会は、ロータリーとの絆を結び、学友同士と現役の米山奨学生との友情を深める役割を果たしています。それぞれの学友会によって活動内容は異なりますが、米山学友会(北海道)では米山奨学生やロータリアンと連携して交流を深める様々なイベントを企画し活動しています。運営は米山学友によって行われ、ロータリアンおよび米山学友委員会が協力・支援しています。米山学友会員・米山奨学生とロータリアンが相互に影響し合える人間関係を目指しています。



# ガバナー公式訪問報告

紙面の都合ならびに原稿の到着日により掲載が前後する場合がございますのでご了承下さい。

## 苫小牧東ロータリークラブ 7月16日

7月16日(木) 嵯峨義輝ガバナー、中村良臣地区幹事、長田正文地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。



10時より平田会長・佐藤聡幹事・佐藤正会長エレクトと懇談会が行われ、本年度より開設した、苫小牧東ロータリークラブのホームページを活用して、当クラブの歴史、過去から現在に至るまでの活動内容の報告を行わせて頂き、有意義な懇談会となりました。ホームページの完成度の高さ、グアム島でのクリスマスドロップ作戦等、これまでの活動内容に対し嵯峨ガバナーより高評価を頂きました。11時からのクラブ協議会では、各委員長より今年度の活動計画が発表され、嵯峨ガバナーより御講評を頂きました。12時30分の例会では、嵯峨ガバナーより卓話を頂き、我々ロータリアンは、世の中の為に、困っている人々の為に、心を込めて自らが世界へのプレゼントになろう、という感動的なお話を頂きました。ありがとうございました。

苫小牧東ロータリークラブ公式HP <http://www.dp-flex.co.jp/east-rc/index.html>

## 函館北ロータリークラブ 7月22日

嵯峨義輝ガバナーに訪問を頂いて、会長・幹事懇談会及びクラブ協議会でお話しを聞かせて頂き、当クラブの今年度テーマ『仲間を増やそう』に



触れ、ロータリーは人種、宗教、国、年齢、職業など様々な多様性を表明しています。現在世界では約19%が女性会員で、日本では約4.8%、第2510地区では4.2%です。

我が函館北ロータリークラブでも女性会員を検討し、多様性を持ったクラブ運営をお願いしたい、又、会員増強はもちろんであるが、それ以上に現会員が退会しないような運動もお願いしたい。

RI会長のテーマ『世界のプレゼントになろう』を理解していただくことです、我々は今日ここまで来るのに沢山プレゼントを頂いてきました。命、親の愛、健康、才能や物質的豊かさを、これからは、世のため、人のため、少しでも良いことに使おうじゃありませんか。人生終わる時、世のためになる事をしたか、困っている方に手助けできた? そういう人生を我々ロータリアンは過ごそうじゃありませんか!心をこめて手を差し伸べようじゃありませんか!

お話しを頂いて、2015~2016年度の船出が始まりました。

## 由仁ロータリークラブ 7月30日

本年度も風薫る丘に建つ「ゆにガーデン」を会場として公式訪問例会を行いました。冒頭の会長・幹事懇談会はカフェのテラスで、みどりの風



を受けながら和やかに始まりました。会員減少で各方面に大変ご心配をおかけした我がクラブではありましたが、前年度後半から必死の増強活動が実って最悪時の会員数の2倍まで持ち直しをいたしました。嵯峨ガバナーにその喜びをいの一番に報告でき、安堵いたしました。

例会では、新入会員にバッジをつけていただき、印象深い入会式を執り行うことができましたし、卓話の中では最終段階に入ったポリオプラスについての説明をしていただき、その意義の一端を学ぶ機会もいただきました。

**当別ロータークラブ****8月4日**

8月4日(火) 嵯峨ガバナー、郷ガバナー補佐、長田地区幹事、青木地区財務委員をお迎えし、公式訪問例会が開かれました。



早朝9時前より当別町役場へ宮司当別町長を表敬訪問頂き有意義な歓談をしていただきました。クラブ協議会では各委員会での取り組みに対しご指導を頂きつつ、地域に根ざした奉仕活動である当別大通りの花壇の植栽・整備、福祉まつり、当別高校就職実践模擬面接、マナーキッズテニス等について興味深く聞いていただきました。何より、今年のクラブ戦略計画に掲げる会員増強に対する取り組みを評価していただきました。

例会でのご所見では、入会してから数年で辞めてしまう会員が多くいることについて、地区大会での新会員セミナーや来年1月に企画している合宿への思いを話されました。「3年未満で辞めるということはロータリーの良さも楽しさも解らず、もちろん友達もできずに辞めてしまう人が多いのだろうと判断しました」との言葉が、そうさせないために地区としても何とか支援できることはないかとご尽力していただいている思いが伝わりました。

**長万部ロータークラブ****8月17日**

8月17日(月) 嵯峨ガバナー、坂本ガバナー補佐、山本地区幹事、赤山地区幹事をお迎えして公式訪問が行われた。会場は、例会場の商工会で、



10時から会長・幹事長懇談会、続いてクラブ会員の木幡町長への表敬訪問を行い、クラブの特徴や活動状況、本町の現状等について話し合った。庁舎前では、10周年記念事業の「大理石の町民顕彰碑」、40周年記念事業の「花時計」に案内して花時計の管理の苦勞を報告。

11時からクラブ協議会を開会、会長から訪問者の紹介と歓迎の挨拶があり、坂本ガバナー補佐からは嵯峨ガバナーの紹介を頂いた。各委員長から今年度の活動方針の報告があり、ガバナーから各委員会に講評があり、少人数クラブの和やかな例会の運営、10グループ内で連携して実施している国際奉仕、全員がロータリーカードを利用していること、町内に町民顕彰碑や花時計の寄贈と植栽の管理等の評価を受けた。

昼食は、名物「かなやのかにめし」を全員で食べながら、いつも変わらない懐かしい味に思い出話になった。

12時30分、第2278回例会を開会、ガバナーは卓話で、長万部町名はメジャーですね。ロータリーは、地域、組織のリーダーの集まりで、リーダーシップの集まりです。この町で、この地域で、そして家庭でリーダーです。RCは、職業人の集まりから始まりました。職業が前提であります。多様性であっていい。楽しいRCにしてほしい等。嵯峨ガバナーのRCライフに対する深い思いと力強い発信力が全会員に刻まれて、大変有意義な例会でした。例会終了後、嵯峨ガバナー公式訪問を記念し全員で記念撮影して、ガバナー公式訪問を終了した。

**函館鶴田ロータークラブ****8月17日**

1. 日時 平成27年8月17日(月)
2. 場所 ロワジュールホテル函館
3. (1)午後4時～会長・幹事懇談会

内容 地区の最大のテーマとしては 1会員増強と 2 My Rotaryへの登録強化並びに 3ポリオ撲滅、財団への理解と支援に対する継続的な取り組みである旨、説明を頂き、それに基づいて意見交換をさせて頂きました。

## (2)午後5時～クラブ協議会

内容 冒頭、嵯峨ガバナーより、会長・幹事懇談会での話を交えながら、今年度の第2510地区の目標に関して挨拶も兼ねて説明を受け、その後、各委員長より今年度の委員会目標に関し其々説明を行い、最後にガバナーより講評を頂きました。

## (3)午後6時30分～夜間例会

嵯峨ガバナー、坂本ガバナー補佐、山本地区幹事、赤山地区幹事にご参加いただき、夜間例会実施後、懇親会を実施し、ガバナーと当クラブの懇親を深めさせて頂きました。





## 室蘭北ロータリークラブ

### 8月25日

2015年8月25日(火) 室蘭北ロータリークラブ第2109回例会が嵯峨ガバナーをお迎えして、公式訪問として開催させて頂きました。

朝10時よりの会長・幹事懇談会では、フランクな会話の中で貴重なお話しをして頂きました。

当会長・副会長の質問等にもわかりやすく現状を説明して頂き地区方針のより深い理解ができたことを感謝致します。

又、私事ではありますが、入会3年未満の私が幹事としての役割を緊張の中で貴重な時間を過ごさせて頂いた事、ガバナーのお話の中で「クラブ自治権」という言葉が私の心には大変大きな言葉として残っております。

11時からの協議会においては当クラブの各委員長の報告に対してガバナーが一人一人に名前を呼びながら感想そして他クラブの現状もお話して頂き、各委員長も感謝しておりました。

例会時には各メンバーもガバナーのロータリアンとしての様々な考え方の例等も自分自身に照らし合わせていた様子で有意義な時を過ごさせて頂きました。

最後に、嵯峨ガバナー、守谷ガバナー補佐、山本地区幹事、赤山地区幹事、林ガバナー補佐幹事、心よりお礼申し上げます。



## 室蘭東ロータリークラブ

### 8月26日

8月26日(水) 嵯峨ガバナー、守谷ガバナー補佐、山本・赤山両地区幹事、林ガバナー補佐幹事をお迎えしてガバナー公式訪問を実施いたしました。

午前10時より荒井会長、富田副会長、森幹事との懇談会から行われ、和やかな雰囲気の中、荒井会長からは、クラブ創立55周年、インターアクト50周年祝賀会の計画、クラブ運営の指針として、和気藹々なクラブ運営の実施等、クラブの現状や今後の活動方針が説明されました。

午前11時よりクラブ協議会が開会され、今年14回目となる「あれこれなんでも相談会」等、各委員長より今年度の事業計画の発表、新入会員の刃祢光夫会員の挨拶がありました。嵯峨ガバナーから室蘭東クラブの特色を活かし、このクラブにとって解りやすい運営を今後ともお願いします。とのお言葉をいただきました。

午後12時30分より始まった例会での卓話では、10月の地区大会、来年1月の新入会員を対象とした1泊2日の合宿のご案内があり、我々は奉仕として5大奉仕が挙げられますが、ロータリーは6大奉仕であり、第一に家庭奉仕があり5大奉仕につながるのではないかと、ロータリーは熱い湯ではなく、ぬるま湯でじっくり浸かっていると効いてくるものですと自身の経験をお話され、最後に室蘭東クラブのみなさんの素晴らしいロータリーライフを願い結びとされました。

嵯峨ガバナーの温かい人柄を感じ、今後のロータリーライフにとっても参考になるお話をいただき例会終了となりました。



## 登別ロータリークラブ

### 8月26日

8月26日(水) 登別クラブの公式訪問は室蘭東クラブさんの後、登別市役所での表敬訪問からスタートしました。

嵯峨ガバナーと守谷ガバナー補佐、山本・赤山両地区幹事、林補佐幹事が同行されました。

小笠原登別市長が会議で不在の為、松橋副市長に correspond いただき主にポリオ撲滅運動についてお話されました。

その後、会場のホテル平安に移動して会長・会長エレクト・幹事懇談会そしてクラブ協議会と進行し、嵯峨ガバナーからは特にMy Rotaryの登録の重要性と登録についてのアドバイスを頂きました。

そして例会に入ってから、遠藤バスターガバナーを始め多くの会員の皆さんとお話をされ懇親を深めることが出来ました。

また、嵯峨ガバナーにおかれましては、小笠原登別市長とは古くから親交があり、表敬訪問時には会議で出かけていた小笠原市長が例会のときに駆けつけてくださりました。

登別クラブにとりましては大変有意義な公式訪問となり、特にMy Rotaryの登録に向けて地区の指導を受けながらたくさんの方が登録出来るよう認識を新たに致しました。



**室蘭ロータリークラブ****8月27日**

8月27日(木) 嵯峨ガバナー、山本地区幹事、赤山地区幹事をお迎えし、当クラブへの今年度ガバナー公式訪問が開催されました。



10時から会長・幹事懇談会が行われ、会長より我々の近年の課題でもある会員減少とそれに伴い活動の見直しをする現状報告が行われ、好転に向けるために、今年度の会長方針は「会員拡大・会員維持率の向上・例会出席率の向上」を第一として取り組む事を説明しました。

11時より始まったクラブ協議会では、各委員長が今年度方針を発表し、多田会長方針を基本とした魅力的な活動を目指す姿勢を説明しました。それを受けた講評の中で嵯峨ガバナーは「会長方針の周知と80年への伝統が感じられた」と述べられ、当クラブの活動に期待を込められました。

例会の中での講演では、最近のRI活動の指針に“職業奉仕-四つのテスト”の重要性が大きく扱われないことを取り上げ、商道徳が希薄になっている今日こそ、ロータリーの草創期から続く理念を理解する必要性を話され、会員は認識を新たにしていました。

最後に、嵯峨ガバナーと地区幹事の皆様におかれましては第9グループを3日間で各クラブや主な自治体首長に表敬訪問を行うなど、過密なスケジュールでこなす中での訪問に感謝を申し上げます。

**栗山ロータリークラブ****9月1日**

9月1日(火)、朝のうち曇天の空も嵯峨ガバナー・郷ガバナー補佐・佐々木ガバナー補佐幹事・長田地区幹事・江本地区幹事補佐の方々、当クラブ



へ到着される頃、第2510地区ガバナー公式訪問を歓迎するが如く、晴れ渡る爽やかな秋空へと変わり、午前10時より会長・幹事懇談会、11時よりクラブ協議会が開催されました。各所属委員会委員長による事業計画、活動方針を発表させて頂き、幾つかの貴重な御助言を賜り、委員会もこれからの活動に大きな原動力をいただけたものと思います。地区重点目標の1つでもあります、会員増強と維持率向上の推進・会員数5%純増について、当クラブは昨年度より8名の新会員を迎え、また3名の退会者があったという事は否めない事実ですが、中でも女性会員が全会員数20%という事を報告させて頂きました。

その中に於いて、入会勧誘の手法として同好会形式にての、ロータリークラブの社会における認識、貢献度をアピールする良い機会も一つの手法と、私達がかつと地域に理解してもらう活動こそが重要な課題であることを痛感させて頂きました。

午後12時15分点鐘と共に、例会が開催され御日程多忙の中、新入会員へのバッジ授与、新入会員推薦紹介者へRI本部からの記念台座とバッジ授与を嵯峨ガバナー直々に授与賜り会員一同、会員増強へのモチベーションアップに繋がったことです。又5大奉仕に加え家庭奉仕を入れ活動をと提言賜り、忘れがちな家族の協力無しには活動出来ないことを知らしめさせて頂きました。

此度の公式訪問に際し、粗相無いようにと案じておりましたが、改めまして嵯峨ガバナーの温かいお人柄と、ロータリークラブに対するこの上ない、情熱とクラブへの愛情をいっぱい頂き、今日からの活動に大いなるお力添えを賜りましたこと、衷心より厚く御礼申し上げます。

**糸市ロータリークラブ****9月2日**

9月2日(水) 嵯峨ガバナー、斎田ガバナー補佐、長田地区幹事、中村地区幹事、石川ガバナー補佐事務局員をお迎えし、ホテル水明閣にてガ



バナー公式訪問が開催されました。午前10時より、会長・幹事懇談会が開催され、竹内会長から当クラブの特徴や活動状況についての説明がされました。午前11時からクラブ協議会が開催され、各委員長より活動計画の説明が行われました。各委員長との意見交換のほか、地区が重点課題としている会員増強と維

持率向上や、オンラインツール活用になどついて、嵯峨ガバナー・齋田ガバナー補佐から貴重な情報やアドバイスをいただき、そして ガバナーの御心遣いもあり、楽しいムードで和やかに会議が進みました。12時30分より例会が開催され、ガバナーから地区の重点目標である会員増強と維持率のお話や、ポリオ撲滅に向けての連携、ロータリー財団のすばらしさなどについてお話をいただき、今後のクラブ活動に向け、とても参考になる有意義な時間を過ごすことができました。

## 小樽ロータリークラブ

9月8日

9月8日(火) 嵯峨ガバナー、齋田ガバナー補佐、西方地区幹事、南原地区幹事補佐及び湊ガバナー補佐事務局員をお迎えしての公式訪問を



実施いたしました。午前10時からの会長・幹事懇談会では当クラブの会長・幹事と次期会長・幹事合わせて4名で懇談をさせていただき、小樽ロータリークラブの特徴や課題等について平松会長より報告させていただいた後、嵯峨ガバナーからは会員の退会を防止するための制度対応の重要性、特に入会3年未満の会員に対しては、永くロータリーライフを楽しんで頂けるよう「地区大会・新会員セミナー」、「新会員1泊研修」を実施し、新会員のフォロー支援を行うというお話を頂きました。また、My Rotaryの登録の推進とクラブセントラルの活用についてのお話も頂きました。

引き続き11時からのクラブ協議会では、各委員会の委員長より自己紹介を兼ねて事業計画とその進捗状況等を発表、続いて入会3年未満の会員より感想等を述べてもらい、その後、嵯峨ガバナーより講評を頂き、終始和やかな雰囲気の中で、クラブ協議会を終了いたしました。

クラブ例会では、齋田ガバナー補佐から嵯峨ガバナーの紹介を頂いた後に、RIテーマと地区目標・重点課題をわかりやすくご説明いただきました。

嵯峨ガバナーの魅力的なお人柄もあり、また、「おたる潮まつり ねりこみ」に参加頂いたこともあって、会員が親しみをもち、かつ真剣に嵯峨ガバナーの講話に聞き入っておりました。また、嵯峨ガバナーのロータリーに対する考え方などを熱く語っていただいたおかげで、会員は嵯峨ガバナーの方針を十分に感じ取ることができました。

嵯峨ガバナーにおかれましては、お体にご留意されまして、残りの公式訪問をはじめ年度内全ての事業が無事に終了されますことを祈念申し上げ、公式訪問の御礼とさせていただきます。嵯峨ガバナー誠にありがとうございました。

## 倶知安ロータリークラブ

9月9日

会長・幹事との懇談の席上、私が倶知安クラブ今期のテーマ「ロータリーを語りあおう」について説明させて頂きました。



私のロータリー歴26年を振り返って、再考しなければならなくなった疑問をガバナーにぶつけました。

それは、ロータリーの目的とは何か?ロータリーとは如何にあるべきか?、です。

結論として「ロータリーの目的」第3項に行き当たりました。『ロータリアン一人一人が個人として、また事業及び社会人として〜』です。

第1、第2、第4項も同等に大切なことですが、私は、今期は特に第3項に重点を置きたいと考えました。「個人として」ということは、「個人を磨け」、ロータリークラブはそのためにあるのだ;と位置付けて、例会を「学びの場」としたいと。結論は出なくてもいい、とにかくロータリーを語り合い、変遷激しい社会の中で相互理解をより深め、会員相互の共感呼び起こし、それを基に個々の社会への奉仕を推進するべく尽力したいとの思いを語りました。

当クラブの各役員も「ロータリーを語りあおう」を念頭に委員会活動を話してくれました。

ガバナーには、それら全てを御受容頂きました。残余10ヶ月は安心してロータリー活動に向かうことができます。倶知安ロータリークラブは今期の終わりには多分「この一年は有意義であった」と結論づけてもらえることと信じます。嵯峨ガバナーの訪問に心から感謝いたします。

**札幌手稲ロータリークラブ****9月12日**

9月12日(土)嵯峨ガバナー、小山ガバナー補佐、武蔵、齋藤地区幹事をお迎えし公式訪問が開催されました。

会長・幹事懇談会では33回目となる「ロータリー杯争奪 西区・手稲区中学校スポーツ大会」、26年目を迎えた「高校生奨学金制度」の説明をしました。

嵯峨ガバナーより長年にわたり先輩諸氏が頑張られた地域に根ざした意義深い継続事業であると賛辞を頂きました。

また、創立45周年特別企画として行った「中学生未来スピーチ大会」には西区・手稲区の主役である19人の中学生諸氏の真摯な発表に当日会場内全に感動を与えた報告に嵯峨ガバナーより温かいお褒めの言葉を頂きました。又、IT化が進んでおりMy Rotary加入促進について積極的に行動してほしい旨の強い要請がありました。

例会では、会員増強、特に女性会員の加入について本州クラブの取り組み方、女性会員の重要性についてお話がありました。当クラブの女性会員の活躍に高い評価を頂きました。

嵯峨ガバナーの親しみやすいお人柄と小山ガバナー補佐のお心遣いに会員一同感心しながら公式訪問を終了させて頂きました。

**札幌清田ロータリークラブ****9月15日**

9月15日(火)、当クラブに嵯峨義輝ガバナー、佐藤泰彦第5グループガバナー補佐が公式訪問されました。秋晴れの日当クラブ会員一同笑顔

でお迎え致しました。同行として武蔵輝彦地区幹事、江本勝典地区幹事補佐もお見えになり少人数の当クラブとしてはとても賑やかなクラブ訪問となりました。

午前10時より当クラブ高橋宣充会長、森加名恵幹事、三浦信一次期会長と7名で会長・幹事懇談会を行ないました。佐藤ガバナー補佐の進行のもと、当クラブの現況、今年度の方針等を報告致しました。それに対して嵯峨ガバナーより、当クラブは社会奉仕を中心とした全員参加型のまとまったクラブであるという評価、会員増強にはクラブ員の趣味であるとか、好きなことをやる同士が集まるような場を通じて増強を図るなどのアドバイスを頂きました。合わせて全国ロータリー野球大会の存在を聞き、野球を通じての入会などの経験談も参考になりました。その他にも乗馬や社交ダンスの話など瞬間に時間が過ぎました。

続いてクラブ協議会へと会場を移し、各委員長からの活動計画を発表致しました。新規事業として地元高齢者を対象とした「ふれあい絵付け教室」の開催の件も報告しました。嵯峨ガバナーよりMy Rotary登録により必要な情報が素早く得られる意義の説明を受けました。例会においては嵯峨ガバナーより基調講演を頂きRIテーマ、ポリオ撲滅への取り組み、地区の重点課題などの講話を頂きました。最後に佐藤ガバナー補佐より講評を頂き、当クラブにおいてはとても参考になり充実した一日でした。嵯峨ガバナーのとても気さくな、気配りのある振る舞いに感激しました。参加された皆様に感謝致します。

**札幌モーニングロータリークラブ****9月15日**

9月15日(火)午後5時半より会長・幹事懇談会、その後6時半よりクラブ協議会、更に翌日16日(水)に例会への公式訪問と

いうことで2日間に渡り嵯峨ガバナー、小山ガバナー補佐、武蔵地区幹事、江本地区幹事補佐にご出席頂きました。会長・幹事懇談会では、当クラブの現状・課題・目標ということで、堀川会長よりカミネコン植樹の社会奉仕活動、インターアクトの青少年奉仕活動、また今年からロータリー財団プログラムの参加の国際奉仕活動と会員増強についてご報告をさせて頂きました。ガバナーからは特に会員増強についてご

指南を頂き、今後の当クラブの会員増強のヒントを頂戴致しました。その後クラブ協議会では各委員長より活動報告をさせて頂き、おおよそ全ての活動報告に対して、アドバイスをや地区や国際ロータリーの考え方など、貴重なご意見を賜りました。翌日の例会では当クラブ名物の「ラジオ体操」にも一緒にご参加頂き、クラブの名前にも冠する「モーニング」であることが原点で、懇親も会員増強もそこからスタートしていくべきというお話を受けて、会員も身の引き締まる思いとなったようです。この日はクラブで「100%出席」の日と定め、ほぼ100%の出席となり、最後に会員とガバナーはじめ皆様と記念撮影をして終了致しました。終始和やかでガバナーの気さくな人柄があふれる素敵な公式訪問になりましたことをご報告致します。



# ロータリー、 来し方行く末

連載 第4回

## ついにやって来た 職業奉仕の終焉



国際ロータリー第2510地区  
パストガバナー 塚原 房樹  
(札幌東RC)

今年度の月信は、ロータリー運動をなるべくわかりやすく書くことを心がけていました。しかしRIの変身について、是非皆さんにお伝えしておかなければならないと思い、つい堅苦しい文章になってしまいましたことをお詫びいたします。

すでにMy Rotaryを通じて御存じの方もおられると思いますが、ラビンドランRI会長が、今年度の7月1日から下記のような会員特典プログラム「ロータリー グローバル リワード」の導入を決定されました。

『ロータリーの会員は世界中の数百もの企業・ビジネスから提供される特典を利用でき、参加企業数は現在も増えている。このプログラムには、ロータリアンが日々の生活のさまざまな場面で利用できる特典が含まれており、利用の度に財団に寄付が送られる特典もあります。そして、このプログラムは、会員の満足度を高めて会員増強につなげることを目的としています』

組織にとって会員数の停滞は衰退と死の始まりであります。そこで会員増強の起死回生の策としてこのような特典プログラムが生まれました。しかし、このプログラムは唐突に現れたものではなく、その前に数々の伏線がありました。

以前から国際ロータリー (RI) で職業奉仕は死語となり、すでに落日の職業奉仕となっていました。ついにラビンドランRI会長の新方針によって、ロータリアン同士の物質的・金銭的な相互扶助が認められるようになったため、長年ロータリー運動の精神的支柱であった「事業や職業における特典をほかのロータリアンに求めない」という「職業奉仕の中核精神」が消えてしまいました。

またRI 理事会は、退職した人や、現在専門職や仕事に従事していない主婦(夫)が含まれている、現在の多様なロータリークラブの会員に配慮して、『ロータリアンの職業宣言』を廃止して、職業人にも一般の人にも通用する『ロータリーの行動規範』を創設しました。このことは事実上職業奉仕の終焉であります。

皆さんは、「ロータリーリワード」に対して、どのようにお考えでしょうか。新しい酒は新しい革袋にという言葉の通り、このRIの変化を容認されるのでしょうか。あるいは等閑に付される方もおられるでしょう。日本のロータリアンにとって職業奉仕は隣人愛の実践であって、あくまでも「個人の規範」たる倫理の問題です。

しかし我々は RIという集団の構成員として組み込まれています。集団には集団を維持、発展させなければならぬという使命があります。この使命に応えるのが集団構成員に課せられた義務であって、これが「集団の規範」たる道徳です。ここで問題になるのは、理想的な社会としては本来、愛の実践という「個人の規範」が優位に立つべきなのに、これは心の問題にとどまり、現実の社会は権力を伴う「集団の規範」が上位にあるということです。問題は、個人の規範と集団の規範の乖離をどうするのかということです。

本来ロータリアンにとって職業は“Vocation” (天職) だったはずですが。私は日本の伝統的職業観を長く伝えてゆきたいと思います。職業奉仕はロータリーのアルファでありオメガであります。次回にもう一度個人の規範と集団の規範の乖離について述べさせていただきます。

# 2016年 韓国・ソウル国際大会のご案内 (第一報)

地区RI国際大会推進委員会

委員長 **安孫子 建 雄** (江別RC・PG)

2016年RI国際大会が、2016年5月28日(土)から6月1日(水)まで、韓国・ソウルにて開催されます。新千歳から直行便にてソウルまでのフライトと言う事で大会には大変参加し易い内容となっており、ホテルにつきましてもロワジールホテルソウルは、明洞(ミョンドン)地区の中心という好環境に恵まれた場所にあり、北海道ナイト会場にもなっております。COEXインターコンチネンタルは質の高さで好評なホテルですので、是非ご家族お誘いあわせの上、多数の皆様方のご参加を宜しくお願い申し上げます。

なお、利用予定航空会社として大韓航空を100名予約しており、宿泊ホテルとして、ソウル/COEXインターコンチネンタルならびにロワジールホテルソウル合わせて100名程度確保しておりますが、かなりの混雑が予想され、飛行機ならびにホテルともキャンセル待ちが既に発生しているとのことですのでお早めにお申し込み下さい。

飛行機ならびにホテルとも、定員になり次第、締め切らせて戴きます。

## RI国際大会ソウル日程

2016年5月27日(金)～5月30日(月)

日次	月日 (曜)	地名	現地時間	交通機関	日 程	朝食	昼食	夕食
1	5月27日 (金)	新千歳空港発 ソウル着	12:00頃 14:15頃 17:10頃	KE 専用車	空港へご集合いただき出発式を行います 新千歳空港より直行ソウルへ ソウル市内のホテルへ (ソウル泊)	-	-	-
2	5月28日 (土)	ソウル	19:00		終日自由行動 北海道ナイト開催 (ロワジールホテルソウル予定) (ソウル泊)	ホテル	-	-
3	5月29日 (日)	ソウル			国際大会参加 終日自由行動 (ソウル泊)	ホテル	-	-
4	5月30日 (月)	ソウル ソウル発 新千歳空港着	18:30頃 21:15頃	専用車 KE	出国まで自由行動 直行新千歳へ 着後解散	ホテル	-	機内

■ 利用予定航空会社；KE=大韓航空

■ ご宿泊ホテル：ソウル / COEXインターコンチネンタル、ロワジールホテルソウル予定

### 【お問合せ・お申込先】

(株)日本旅行北海道・旭川支店 旭川市3条通9丁目 TKフロンティアビル1階

電話：0166-26-0401 FAX 0166-25-4749 担当：山崎

## グローバルグラント実施国ロータリアンとの交流付、世界大会参加 5日間 2016年5月28日(土)～6月1日(水)

日次	月日 (曜)	地名	現地時間	交通機関	日程	朝食	昼食	夕食
1	5月28日 (土)	千歳空港発 ソウル着	09:00頃 12:00頃  19:00	KE 専用車	大韓航空にてソウルへ 到着後、大会会場にて受付(予定) その後ホテルへ *北海道ナイト開催  (ソウル泊)	-	機内	機内
2	5月29日 (日)				「国際大会参加」  (ソウル泊)	○	-	-
3	5月30日 (月)	ソウル発 バンコク着	09:00頃 13:00頃	KE 専用車	大韓航空にてバンコクへ *グローバル・グラント実施国 タイロータリアンと交流会 (バンコク泊)	○	機内	○
4	5月31日 (火)			専用車	*グローバル・グラント実施国 タイロータリアンと交流会 お部屋は、18:00迄ご利用できます。 市内から空港へ (機内泊)	○	-	○
5	6月1日 (水)	バンコク発 ソウル着 ソウル発 千歳空港着	00:30頃 07:30頃 10:10頃 12:55頃	KE  KE	大韓航空にてソウルへ  大韓航空にて千歳へ	機内	機内	

※ 上記スケジュールは2015年9月10日現在の予定であり、航空機のスケジュールは決定しておりません。

【利用ホテル】 ソウル：コリアホテル(予定) バンコク：イエローリボン(予定)

○ 設定人数：30名様

<旅行費用に含まれるもの>

- ・ 航空料金 大韓航空(エコノミークラス)
- ・ 宿泊代 ソウル 2泊、バンコク 1泊 機内 1泊 ※ 2名様 1室利用
- ・ 食事代 日程表に記載。朝食 3回、夕食 2回、機内食
- ・ 日程表の送迎費用 ・ 団体行動の際は現地係員がご案内致します。

<旅行費用に含まれないもの> ・ 国際大会登録料、北海道ナイト、空港諸税・燃油費用、上記に含まれるもの以外  
ご案内事項：国際大会参加のみ 2泊3日をご希望の方はお問合せください。

【お問合せ・お申込先】

(株)産経海外旅行 札幌市中央区北1条西7丁目 タキモビル4階  
電話：011-271-5388 FAX 011-271-5621 担当：斉藤・矢田目

### ロータリークラブ会長の皆さま

2016年5月28日～6月1日、「韓国で世界とつながろう」をテーマに、ソウルでロータリー国際大会が開かれます。日本の各都市から直行便が出ているソウルでの今大会は、これまで国際大会に参加したことがないという方も、初参加できる絶好のチャンスです。日本からの目標出席者数10,000人の達成を目指して、どうか推進にご協力ください。

クラブリーダーの皆さまは、大会への出席を会員に奨励する上で、大きな役割を果たすことができます。今年度、国際大会の推進に優先的に取り組み、以下のような国際大会の魅力を会員にお伝えいただくようお願いいたします。

- ・ ロータリー国際大会はロータリアンならどなたでも参加できるイベントです。ロータリーの真の国際性を実感できます。
- ・ 洗練された文化、最新ファッション、K-POP(韓国のポップ音楽)など、アジアの人気都市ソウルは、観光も存分に楽しめます。
- ・ 国際大会は、世界中から集まる人びとと出会い、生涯の友とめぐり合い、協力のネットワークを築くまたとない機会です。
- ・ 現地での奉仕活動に参加する機会もあります。
- ・ 印象に残る講演、豪華なショー、友愛の家でのイベントなど、盛りだくさんの大会プログラムが組まれています。

推進用資料が収められたツールキットを、国際大会サイト(www.riconvention.org/ja)の「関連資料」のセクションからダウンロードし、ぜひ活用ください。このツールキットには、ポスター、はがき、ウェブサイト用キャッチコピー、ダウンロード・印刷できる資料が収められています。

なお、航空券とホテルの手配は早めに行うことをお勧めします。12月15日までに登録すれば、早期割引がご利用いただけます。登録は、www.riconvention.org/jaで行うことができます。

## 新会員の紹介 (敬称略)



深川RC  
**飛騨野貴広**  
7月7日入会  
葬祭業



深川RC  
**森 隆江**  
8月25日入会  
飲食業



砂川RC  
**高坂 誠**  
9月1日入会  
タイヤ販売



苦小牧東RC  
**仕子 一幸**  
9月1日入会  
不動産業



苦小牧RC  
**斉藤 玄行**  
8月7日入会  
新聞発行



苦小牧RC  
**菅原 康雄**  
8月28日入会  
携帯電話サービス



えりもRC  
**高橋 祐之**  
8月17日入会  
酪農業

## ～米山奨学生の紹介～

### クーン・トビアス KUHN, TOBIAS (室蘭東RC)

スイス出身、26歳、クーン・トビアスです。自国では、2年間、工場の生産ラインの電気的メンテナンスの仕事をしていました。日本に来たきっかけには、アニメをよく観ていたことと、日本語が面白くて趣味で勉強していたことがあります。

小さい頃から電化製品の分解をよくやっていて、電気の世界に心を惹かれました。現在は、アナログ回路を組み、センサーの信号を増幅したり、マイコンをプログラミングしたりして様々な実験を行っています。一番最近にできたのは、卓球の球を1000回以上跳ねさせることができるロボットです。これは1年以上前から挑戦しているプロジェクトで、改善の積み重ねで7月の初め頃ようやく5分以上連続的に球を跳ねさせることに成功しました。「卓球の球を跳ねさせるロボットなんて、何の役にも立たない」と思う人もいるでしょう。確かに、見て楽しむロボットに過ぎませんが、実際に自分で考えた物を形にし、作る過程の中で数多くの壁を乗り越えたり、新鮮なアプローチを考えたりすることには大きな意味があると考えています。言うまでもなく、経済的心配などなく実験に没頭できるのはロータリークラブのおかげです。奨学生を支援してくださっているロータリーの皆様に感謝しています。





# 2018-2019年度 ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 嵯峨 義輝  
地区ガバナー指名委員長 細川 好弘

2018-2019年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(書式任意)をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナーノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第13条(ガバナーの指名と選挙)  
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定  
(1998-1999年度地区年次大会決議第8号)

## 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

### 米山功労者

札幌RC	小山 司	会員(4回)	7月7日
砂川RC	高橋 秀明	会員(2回)	8月7日
新札幌RC	伊藤 豊	会員(3回)	8月24日

### 米山功労クラブ

美唄RC	11回	8月31日
------	-----	-------

## ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

### マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

室蘭北RC	斉藤 崇	会員(1回)	7月31日
函館五稜郭RC	石坂 仁	会員(2回)	7月1日
札幌北RC	大浦 隆司	会員(1回)	8月6日
札幌北RC	出村知佳子	会員(5回)	8月17日

## クラブ例会場のホテル名変更について

札幌幌南ロータリークラブ、札幌清田ロータリークラブ例会場のホテル名が10月1日より下記に変更となりましたので宜しくお願い申し上げます。

(旧) ルネッサンスサッポロホテル ▶ (新) プレミアホテル — TSUBAKI — 札幌

## 地区組織について

### ロータリーグローバルリワード委員会の設置について

2015年7月1日より、新しい会員特典プログラム「ロータリーグローバルリワード」が全世界で開始されました。当地区でもこのプログラムの周知と推進を行うために、委員会を設置致しましたのでお知らせ致します。

委員長 鍋谷 操 子(函館セントラルRC) 副委員長 久保田 俊 昭(札幌RC)

## ポリオプラス 委員会より

野生型ポリオは昨年より確実に減ってきています。しかし今撲滅の手を休めると又増えてくる事になります。今期の募金目標額は会員1人30ドルとなっておりますが、金額は基よりお願いしたい事は地域の皆様へポリオ撲滅の意義と募金を行うキャンペーン活動です。是非昨年同様各クラブの皆様には地域に対するポリオ撲滅のキャンペーンを計画をお願い申し上げます。

END  
POLIO  
NOW

### 野生型ポリオ症例数

2015年9月24日現在

ポリオ	国	2015年9月9日	2014年同時期	2014年度合計	麻痺が発生した最後の年月日
常在国	パキスタン	32	145	306	2015年8月22日
	アフガニスタン	9	8	28	2015年8月7日
	ナイジェリア	0	6	6	2014年7月24日
常在国 以外	ソマリア	0	5	5	2014年8月11日
	赤道ギニア	0	5	5	2014年5月3日
	イラク	0	2	2	2014年4月7日
	カメルーン	0	5	5	2014年7月9日
	シリア・アラブ共和国	0	1	1	2014年1月21日
	エチオピア	0	1	1	2014年1月5日
	世界合計		41	178	359

#### 【世界ポリオデーに向けて】

野生ポリオウイルスによる発症が後2年確認されないとアフリカ大陸は“ポリオフリー”となります。現在世界のポリオフリーまであと0.01%です。最後の一番厳しい戦いです。ポリオ撲滅に向け会員の皆様のご協力をお願い致します。私たちの役割の一つに活動資金援助があります。2013～2018の活動資金は5億ドル不足しています。世界ポリオデー「10月24日」に向け、力を集結して目標に向かい取り組みましょう。

○当委員会は、本年度ポリオプラス寄付目標であります会員一人30ドルを達成したクラブにに対しクラブ表彰等を考えております。(会員数は期首会員数といたします)

#### 【私たち会員の寄付した資金はこの様に使われています III】

独立監視委員会:ポリオのない世界の達成に向けての進捗状況を評価しています。ポリオの疫学、ポリオウイルス、標準的な評価指数その他のプログラムのデータに基づいて、世界ポリオ撲滅イニシアティブ(GPEI)戦略計画の進捗状況を個別に評価しています。活動資金の過不足によるリスクの評価も発表します。独立監視委員会は、GPEIの理事会(EB)と世界の健康アセンブリ(WHA)の要請で設立され、GPEIの様々な仕事に関連するグローバルな専門家で構成されています。四半期毎開催、今回は10月5,6日 ロンドンで行われます。

#### 【ロータリーオリコ法人カードを使用しましょう】

オリコの法人カードを使用すると一部がポリオへの寄付となります。オリコカードの年会費は3,240円の内 1,500円。及び使用額の0.5%が寄付されます。

仮に1万社が年間100万円使用した場合、 $(1,000,000円 \times 0.5\% + 1,500円) \times 10,000社 = 6千5百万円/年$ の寄付となります。

## 文庫通信



(336号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### ロータリー資料より

【下記申込先：ロータリー文庫】

「社会奉仕委員会2013～2014年度事業報告集」 D.2650 2014 168p

「ロータリー社会奉仕事例集」 前原勝樹編 1976 229p

「ロータリーにおける『社会奉仕』の対象/決議23-34のタイトル」 鈴木一作 5p

「ロータリー職業奉仕事例集」 前原勝樹編 1975 318p

「職業とロータリー」 菅生浩三 1993 18p (ロータリー随想 その周辺とともに)

「RI戦略計画と青少年奉仕」 南園義一 2015 6p (第7回国際ロータリー全国RYLA研究会)

「新世代奉仕RYLA」 田中作次 2015 10p (第7回国際ロータリー全国RYLA研究会)

「光り輝くロータリアン」 藤川享胤 2015 7p (D.2690地区大会記念誌)

「ロータリーとは？」 鈴木一作 6p

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日

## 地区カレンダー (10月・11月)

10月 経済と地域社会の発展月間 米 山 月 間	
1 (木)	
2 (金)	地区大会記念ゴルフ大会 (岩見沢)
3 (土)	地区大会 (岩見沢)
4 (日)	地区大会 (岩見沢)
5 (月)	
6 (火)	公式訪問 (札幌はまなすRC、札幌大通公園RC)
7 (水)	公式訪問 (新札幌RC)
8 (木)	公式訪問 (江別RC)
9 (金)	
10 (土)	当別RC創立40周年記念式典 (当別)
11 (日)	
12 (月)	体育の日
13 (火)	公式訪問 (赤平RC)
14 (水)	
15 (木)	
16 (金)	
17 (土)	
18 (日)	
19 (月)	公式訪問 (三石RC)
20 (火)	公式訪問 (浦河RC、様似RC)
21 (水)	公式訪問 (静内RC)
22 (木)	公式訪問 (えりもRC)
23 (金)	
24 (土)	
25 (日)	
26 (月)	公式訪問 (札幌北RC)
27 (火)	
28 (水)	公式訪問 (白老RC)
29 (木)	公式訪問 (札幌西北RC)
30 (金)	
31 (土)	赤平ローターアクトクラブ 創立40周年記念式典 (赤平)

11月 ローター財団月間	
1 (日)	
2 (月)	
3 (火)	文化の日
4 (水)	公式訪問 (砂川RC)
5 (木)	公式訪問 (滝川RC)
6 (金)	
7 (土)	～8 (日) 北海道ローターアクト交流会 (札幌)
8 (日)	
9 (月)	
10 (火)	
11 (水)	公式訪問 (恵庭RC)
12 (木)	公式訪問 (芦別RC)
13 (金)	公式訪問 (苫小牧RC)
14 (土)	
15 (日)	千歳セントラルRC創立25周年記念式典 (千歳)
16 (月)	
17 (火)	公式訪問 (札幌西RC)
18 (水)	公式訪問 (札幌RC)
19 (木)	公式訪問 (美唄RC)
20 (金)	
21 (土)	第3グループIM (江別)
22 (日)	
23 (月)	勤労感謝の日
24 (火)	公式訪問 (岩見沢東RC)
25 (水)	公式訪問 (栗沢RC)
26 (木)	公式訪問 (岩見沢RC)
27 (金)	
28 (土)	第10・11グループ合同IM (函館)
29 (日)	
30 (月)	
31 (火)	

**2015年10月のローターレート 1ドル 120円**

# 出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2015.7.1	2015.8.31	増 減	内女性	
1	深 川	3	34	36	2	3	83.60
	羽 幌	4	43	46	3	2	75.54
	妹背牛	4	11	11	0	0	81.81
	留 萌	4	38	40	2	3	82.93
	小 計		126	133	7	8	80.97
2	赤 平	3	26	26	0	0	70.00
	芦 別	3	37	37	0	2	83.00
	砂 川	3	37	37	0	0	96.49
	滝 川	3	78	81	3	4	80.00
	小 計		178	181	3	6	82.37
3	美 唄	3	32	32	0	0	84.07
	江 別	3	31	31	0	1	81.11
	江別西	3	26	26	0	3	79.50
	岩見沢	3	73	74	1	0	90.52
	岩見沢東	4	22	22	0	3	77.50
	栗 沢	3	22	22	0	1	92.40
	栗 山	4	22	25	3	5	92.00
	当 別	4	27	28	1	1	88.85
	小 計		255	260	5	14	85.74
4	札 幌	3	117	126	9	0	98.31
	札幌はまなす	3	16	16	0	2	87.50
	札 幌 北	4	34	36	2	3	92.86
	札幌モーニング	3	39	39	0	0	81.27
	札 幌 西	4	51	51	0	8	80.74
	札幌西北	3	32	31	-1	3	84.40
	札幌手稲	4	37	39	2	4	88.82
	小 計		326	338	12	20	87.70
5	札 幌 東	3	122	122	0	0	96.48
	札幌清田	2	16	16	0	4	100.00
	札幌幌南	3	70	71	1	14	100.00
	札幌真駒内	3	24	23	-1	3	100.00
	札 幌 南	5	79	80	1	0	98.00
	札幌大通公園	2	13	13	0	1	53.85
	新 札 幌	3	24	24	0	3	87.30
小 計		348	349	1	25	90.80	
6	岩 内	3	19	21	2	1	85.93
	倶知安	3	39	39	0	5	78.80
	小 樽	3	74	74	0	0	87.67
	小樽南	4	73	73	0	2	86.47
	小樽銭函	3	19	19	0	1	75.00
	蘭 越	5	10	10	0	0	100.00
	余 市	3	48	48	0	5	82.00
小 計		282	284	2	14	85.12	

8月出席率・ 会員増減数	クラブ数	70クラブ
	期首会員数	2,526人
	当月末会員数(女性)	2,585人(133人)
	増加会員数	59人
	当月平均出席率	84.08%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2015.7.1	2015.8.31	増 減	内女性	
7	千 歳	3	54	58	4	4	87.50
	千歳セントラル	4	38	38	0	4	80.26
	恵 庭	3	46	50	4	2	84.95
	北 広 島	3	17	18	1	1	77.78
	長 沼	4	19	19	0	3	85.00
	由 仁	3	8	9	1	0	74.07
小 計		182	192	10	14	81.59	
8	えりも	4	18	18	0	1	95.83
	三 石	4	13	13	0	1	78.20
	様 似	4	21	21	0	1	75.00
	静 内	3	64	67	3	1	89.73
	浦 河	3	22	23	1	0	86.96
	小 計		138	142	4	4	85.14
	9	伊 達	3	55	56	1	0
室 蘭		3	30	35	5	0	75.24
室蘭東		3	34	35	1	0	84.70
室蘭北		3	40	39	-1	3	76.92
登 別		4	32	32	0	1	84.38
洞 爺 湖		4	9	9	0	0	77.70
小 計		200	206	6	4	80.77	
10	函 館	3	82	84	2	1	78.22
	函館亀田	5	41	41	0	4	89.74
	森	4	33	35	2	0	85.00
	七 飯	1	17	17	0	0	77.40
	長万部	3	8	8	0	0	87.50
	函館セントラル	3	22	22	0	2	69.70
	小 計		203	207	4	7	81.26
11	江 差	3	12	12	0	1	66.00
	函館五稜郭	3	51	51	0	0	86.47
	函 館 東	3	47	48	1	5	80.51
	函 館 北	3	21	21	0	0	95.08
	北 斗	3	13	14	1	0	69.00
	松 前	3	4	4	0	0	75.00
小 計		148	150	2	6	78.68	
12	白 老	3	33	33	0	2	78.00
	苦小牧	3	51	54	3	2	78.41
	苦小牧東	3	27	27	0	6	92.59
	苦小牧北	3	29	29	0	1	92.10
	小 計		140	143	3	11	85.28
合 計		2,526	2,585	59	133	84.08	

※札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数14名(内女性会員9名)を含む

## 第12グループ各クラブ紹介

12グループは、苦小牧地域の3 RCと白老 RCの4クラブで構成されております。

4クラブの特徴は次のようなものです。

### 苦小牧 RC

1. 2002(平成14)年7月より、苦小牧東 RCと共同で苦小牧少年少女合唱団の支援活動を行なっております。
2. 苦小牧市が公園に造成しているハナショウブ園に、「みどり」の奉仕事業として維持管理助成金を5年間継続事業で前年度まで寄贈しておりました。市から今年度も継続要請があり、支援する方向で進めております。
3. 苦小牧市教育研究会 社会科部会が主催の、市内小中学生を対象に社会事業に対して興味・関心を高め、自ら調査研究する「社会科自由研究作品」へ会長賞を設けて授与しております。
4. 友好クラブは相模原 RCで、1970(昭和45)年より、相互に訪問し交流を深めております。

### 苦小牧北 RC

1. 『苦小牧北ロータリー杯少年サッカー大会』を主催し今年で35回を迎えます。
2. 当クラブが20年前に提唱して始まり、RCC苦小牧家庭生活カウンセリング協会主催の2級・3級カウンセラー養成講座は長年にわたり継続され、すでに600名以上のカウンセラーが誕生し自治体の管理を受けることなく、幅広い年齢層に対する支援と悩み事相談を行なっています。
3. CLPを導入して、5年目を迎えます。積極的に会員増強に努めその成果があがり、今後も努力し中長期的な視野に立って、クラブ運営を行なっています。
4. 友好クラブは『石巻 RC』です。東日本大震災後、初めての一昨年6月11日、12日の二日間、石巻 RCから11名の会員が来苦され夜間例会に出席し、その後懇親会で友好を深められ帰られました。

### 苦小牧東 RC

1. 2000年11月25日、環境保全をテーマに二部構成のフォーラムを企画、一部では市内の小・中学生を対象に環境に関する作文、イラスト・絵画を募集し、その作品

は苦小牧市民に反響を起こしました。

二部では、環境問題の講演とパネルディスカッション方式で討論を通じたフォーラムとなりました。同時にクラブ員にて、作品集の小冊子を手作りでパソコンに保存をしております。この企画は第2510地区ガバナー賞を受賞しました。

2. 苦小牧から全国に発信できる環境ソング、苦小牧の環境保全の歌を募集し、「クリーンナンバー・053」が誕生しました。2003年12月21日に発表会を行い、苦小牧駒澤大学生とも共演「夢・クリーン環境作品展」として、市民の関心を集めました。翌年には2510地区ガバナー特別賞を受賞しました。
3. 2006年3月12日、「外国人日本語弁論大会 in 苦小牧」を開催し、10カ国14人の外国人と文化交流を行いました。
4. 「クリスマス・ドロップ作戦」と称し、戦後貧しい生活を行っていたグアム近海の離島、北マリアナ諸島、ミクロネシアなどを対象に、一般企業や市民の方から寄せられた品々を大きな箱に詰め、パラシュートを付けて、アメリカ空軍の協力で貨物軍用機から投下しプレゼントしています。

### 白老 RC

1. 若い会員が増え、ベテラン会員との仲も良く、和気藹々としたクラブです。
2. 歴代、美味しい例会として、白老の美味しい海の幸、山の幸を堪能し、出席率向上に一役買っています。
3. 10年以上、少年サッカー大会を開催してきました。少子高齢化が進む中、「教育が町を変える」をテーマに、「白老ロータリーキッズツアー」を新たに開催します。さらに町が行う事業にも協力予定で、青少年育成に力を入れていきたいと考えています。
4. 登別ロータリークラブとの合同例会を毎年開催し、姉妹クラブの仙台西ロータリークラブとは、毎年交互に訪問し、交流を深めています。東日本大震災の際には、仙台西クラブと協力して寄付を行い、仙台市社会福祉協議会に巡回車が寄贈されました。
5. 町内環境整備のため、桜の植樹事業を10年以上継続してきました。
6. タイのノンカイ地区への浄水器設置事業に協力してきました。



■ 樽前山とタルマエソウ(高山植物)

## 表紙の解説

樽前山は、支笏湖カルデラの南部にありますが、現在も活動を続けている火山です。

支笏湖カルデラは、直径約12kmのカルデラであり、今から約3万年前に激しい軽石噴火の結果、陥没したものです。

樽前山は、約3千年前の大噴火のあと、2千数百年間休止し、1667年再び活動を開始した。

現在は、この時から始まった活動期にあるものと考えられている。

80年前後で噴火されていることから、そろそろ噴火があるかもしれない。

国土交通省は、平成6年より火山噴火に伴う泥流の氾濫を抑制するために砂防地、砂防ダムの整備を行っています。

こんな火山灰の樽前山にも、タルマエソウが咲いている姿が美しく、自然と人間との調和を感じて掲載致しました。